

平成31年4月22日

川西市議会議長 様

会派(呼称)名 川西まほろば会

議員名 松隈 紀文



## 管外調査報告書

このたび、管外調査をいたしましたので、その概要を下記のとおりご報告いたします。

### 記

- 1 調査者氏名 久保義孝 西山博大 秋田修一 磯部裕子 松隈紀文
- 2 調査先 文部科学省 スポーツ庁 株式会社地方議会総合研究所
- 3 調査期間 平成31年1月30日～  
平成31年1月31日
- 4 調査概要

#### (1) 文部科学省での調査概要（別紙資料①参照）

2020年度から始まる小学校の新学習指導要領について文部科学省の方々にご教授いただいた。

学校で学んだことが、子どもたちの「生きる力」となって、明日に、そしてその先の人生につながるよう、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしいという願いが込められた学習指導要領へと進化する。

また、主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）とカリキュラム・マネジメントを軸として①学びに向かう力や人間性②知識及び技能③思考力、判断力、表現力など3つの力をバランスよく育むことが目標となる。

これにより学校で学んだことを人生や社会に生そうとする、実際の社会や生活で生きて働く、そして未知の状況にも対応できる、そんな子どもたちを育てる取り組みとなるとのこと。



(2) スポーツ庁での調査概要（別紙資料②参照）

総合型地域スポーツクラブについての概要及び先進的事例の紹介を受ける。  
また中学校における部活動の在り方に関する総合的なガイドラインについて  
説明を受け、今後の総合型地域スポーツクラブと部活動との連携の進め方について考える機会となった。





(3) 株式会社地方議会総合研究所での調査概要 (別紙資料③参照)

「～地方自治体の福祉行政とまちづくり～」について元淑徳大学教授・元富士見市総務部長、石川久講師からご教授いただいた。

自治体の福祉行政を歴史や国と地方の役割から確認し、①子ども家庭福祉②高齢者福祉③生活保護④地域福祉に分けて、それぞれの現状と対策や施策から、自治体の役割を考察。これからのまちづくりにおいて、福祉行政をどう展開していくのかを学んだ。

